

古賀恒星圖の正誤表

山本 一 清

此の星圖に可なり多くの誤りを發見しましたので左に訂正します

一。北極圈

赤道 正誤の記事

IからII迄 七〇度以北 〇星を赤經一時三十二分、北緯七十二度三十八分に移す

同 VIからVII迄 六〇度以北 〇星の名を52と改む

同 VIIからVIII迄 六〇度以北 〇星の名を52と改む

同 VIIIからIX迄 七〇度以南 〇星の名を52と改む

同 IXからX迄 七〇度以南 〇星の名を52と改む

同 XからXI迄 七〇度以南 〇星の名を52と改む

同 XIからXII迄 七〇度以南 〇星の名を52と改む

同 XIIからXIII迄 七〇度以南 〇星の名を52と改む

同 XIIIから〇迄 六〇度以北 〇星の名を52と改む

同 〇星を赤經二十二時二十六分、北緯五十八度一分に移す

同 〇星を赤經二十三時二十一分、北緯六十一度五十一分に移す

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

同 〇星の名を52と改む

二。赤道帶

XXIからXXII迄 六〇度以北 〇星をニミリだけ左方に移す

XXIIからXXIII迄 六〇度以北 〇星をニミリだけ左方に移す

XXIIIから〇迄 六〇度以北 〇星をニミリだけ左方に移す

IからII迄 北十五度 〇星をニミリだけ左方に移す

IIからIII迄 北三十一度 〇星をニミリだけ左方に移す

IIIからIV迄 北十九度 〇星をニミリだけ左方に移す

IVからV迄 北二十度 〇星をニミリだけ左方に移す

VからVI迄 北四十三度 〇星をニミリだけ左方に移す

VIからVII迄 北二十二度 〇星をニミリだけ左方に移す

VIIからVIII迄 南二十五度 〇星をニミリだけ左方に移す

VIIIからIX迄 北二十五度 〇星をニミリだけ左方に移す

IXからX迄 同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 XからXI迄 同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 XIからXII迄 同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 XIIから〇迄 同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

同 〇星をニミリだけ左方に移す

問答欄

まへおき 前號に豫告して置きました通り、本號から新しい問答欄を作り、質問と共に解答なども募ることにします。應募者の名は匿名でも宜しいが、本誌編輯室には本名を知らせて貰ひたいものです。質問と解答と、共にここに投稿の出来るのは同好會員に限りません。

質問の部

(一)私は八倍の二吋望遠鏡を持つてゐるので御座いますが、土星の輪は見えますか？

(T, K)

(二)私は學校の教師でありまして、生徒に宇宙の話をするのですが、ラプラスの星雲説は今でも教へて宜しいでせうか。御教示を願ひ上げます。

(大阪の一會員)

(三)天界五月號の天空逍遙者と題しまして宛木先生の御講話中の十三頁の終りの海王星の位置を佛のルヴェリーと英のアダムスが理論的の計算によつて一千八百四十八年に豫言したと御座いますが、理科年表には次の様な表が御座いました。

天文(主々天文學上ノ發見)

1846年 海王星 發見者 { Adams(英)
Leverrier(佛)
Galle(獨)

御明示を願ひたく思ひます。

(御影町の一會員)

新彗星たより

最近報 (ナハリヒテン誌の觀測報 Beobachtungszirkular der Astronomische Nachrichten)によれば、本年の第一彗星はロシアのシメイ(Simeis)天文台のシャイン(Shain)氏が三月二十二日早朝に發見したもので、すぐ台長ベリヤフスキ(Berjajewski)氏からキールに左の電報が送られた。

「彗星が急速の遊星か、シャイン發見、三月二十二日二時一二分シメイにて赤經十一時五十一分二十秒、赤緯北一度三十四分、十等半、毎日三十分づつ運動す」

ところが此電文に不明の個所があつたのでキール中央局では直ちにハムブルグ天文台へ電話をかけて彗星の搜索を依頼し、ハムブルグでは二十三日の夜果して之を見届けた。

しかるに此の彗星はスペイン國バルセローナ天文台のユマス・ソラー(Comas Solá)氏も右の事は知らないでゐて、二十三日夜に撮影した天體寫真中に發見したといふ。

天文の講習會

京都帝國大學では、毎年の夏、諸教室を開放して諸學科の夏期講習會を行ふことになつてゐるが、今十四年度には同大學理學部の一部として左の講習會が催される。

學科目 「太陽系の天文學」

講師 理學部教授 山本一清氏

詳細は決定次第發表されるだらうし、わが「天界」にも記す筈。

船橋無線報時(午後九時)の修正

(本年四月の分)

四月

日	時	分	秒
一	〇〇	〇九	秒
二	〇〇	〇一	
三	〇〇	〇〇	
四	〇〇	〇七	
五	〇〇	〇二	
六	〇〇	〇四	
七	〇〇	〇一	
八	〇〇	〇二	
九	〇〇	〇九	
十	〇〇	〇三	
十一	〇〇	〇四	
十二	〇〇	〇七	
十三	〇〇	〇五	
十四	〇〇	〇一	
十五	〇〇	〇三	
十六	〇〇	〇一	
十七	〇〇	〇三	
十八	〇〇	〇一	
十九	〇〇	〇二	
二十	〇〇	〇九	
二十一	〇〇	〇二	
二十二	〇〇	〇一	
二十三	〇〇	〇四	
二十四	〇〇	〇一	
二十五	〇〇	〇四	
二十六	〇〇	〇一	
二十七	〇〇	〇六	
二十八	〇〇	〇四	
二十九	〇〇	〇二	
三十	〇〇	〇二	

注意。早は早や過ぎ、他は遲過ぎるもの。